

羊ヶ丘養護園安全委員会だより

羊ヶ丘養護園 VOL.38 令和元年 11月8日 発行者 松本

第46回安全委員会が10月21日に開催されました。

今回行われた定例安全委員会では、令和元年8月1日から令和元年9月30日までに起きた14件のケースの報告と、1名の児童への嚴重注意がなされました。報告された暴力の傾向としては、高学年男子ユニットにおける職員への暴力・暴言は減少傾向にあるものの、特定の児童間でのトラブルは依然多く見られることから、詳細を把握する事に努め、引き続き、きめ細やかに対応していく必要があることが分かりました。

また、前回2回目の嚴重注意を受けたA君のその後について、退所する日まで嚴重注意で交わした約束を忘れずに、日々自身の行動を振り返りながら、皆と仲良く生活しようとしていた姿があったことが報告されました。

嚴重注意の審議の中で・・・

今回、園長より発議されたB君の嚴重注意の審議では、B君の施設でのトラブルや学校での生活状況について慎重に確認がなされました。夏休み明けより特別支援学級に転籍し、現在ではイライラすること無く、毎日楽しく学校生活を送っている事から、環境因の重要性について一定の評価がなされた一方、失敗から学ぶ機会が減少したことから、今回の暴力対応記録を鑑みても、今後本児がこのまま社会に出ていった時に困るのではないだろうかという懸念がなされておりました。また、暴力が児童間だけではなく職員に対しても向けられることが繰り返している現状から、コミュニケーション面での課題も大きく、B君が正しい対処を学ぶ為の機会となる事を願い、今回嚴重注意に踏み切ることとなりました。

B君の様子

ユニットの職員と一緒に嚴重注意の場に現れたB君は、緊張もあり、時折言葉に詰まることもありましたが、澤委員長の問い掛けに落ち着いて受け答えをし、自分が暴力をしたからこの場に呼ばれていることを深く自覚している様子でした。委員の先生方からは、B君のの為に関わってくれている先生方への暴力は良くないので、先生たちの言う事を聴き、暴力を我慢するようにとの申し渡しがあり、B君も頷いていました。委員の先生方やユニット職員の想いを受け、涙する場面もあったB君でしたが、最後は委員の先生方へ一礼をして場を後にしていました。嚴重注意後のB君の成長をこれからも皆で寄ってたかって見守っていきましょう。

當眞先生の園内研修報告

去る10/8(火)に行われた當眞千賀子先生(九州大学大学院教授)による園内研修の報告と、そこから見えた当園安全委員会方式の課題について園長及び小野先生より伝えられました。また、改善案として当園で今後以下の取り組みを実践していく予定であることが報告されました。

1. 学習会の実施
2. 児童の面接と振り返りの強化
3. ケースの共有機会の強化
4. インシデント(記録)の積み重ね

11月の予定

- 10/31～11/1 全国児童福祉安全委員会連絡協議会 第11回全国大会(岩手大会)
- 11/25(月) 15:00 第48回定例安全委員会
- 11/25(月) 16:00 羊ヶ丘養護園安全委員会9周年記念集会
- 11/26(火) 10:00 田嶋名誉教授による園内研修

今回定例安全委員会に陪席をさせて頂きありがとうございました。起きた暴力だけではなく、暴力に繋がる兆候から拾い上げ、取り扱っていくことの大切さを感じ、羊ヶ丘養護園の安全委員会がもうすぐ9周年を迎える中で、私たち職員も、もう一度改めて安全委員会の基本について学び直すことの必要性を感じました。

児童指導員 有田 京太郎